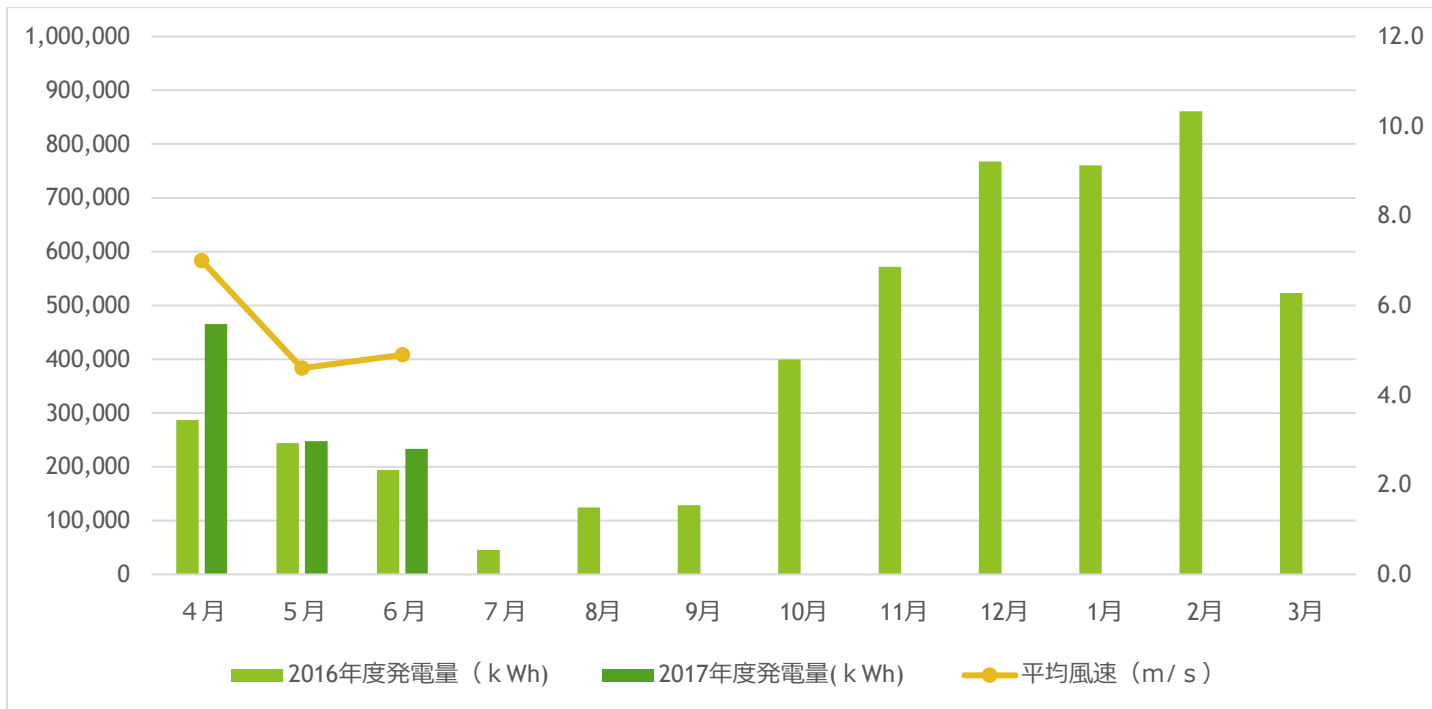


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 西村明子

● 発電実績



- 風況は昨年同月に比べ0.9m/s高い実績でした。
- 東北電力要請の解列があり計5日の停止がありました。
- 風の強い日に順調に発電したため発電量は120.3%となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	465,321	7.0	92.6
5月	247,330	4.6	84.5
6月	233,257	4.9	82.9
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

● グリーンファンド秋田今月の予定

☆7月29日風車「夢風」建設5周年を祝う会☆

にかほ市と生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉、グリーンファンド秋田との連携推進協議会の主催で風車サイトにてお祝いのイベントを行います。

☆7月30日5周年記念フォーラム☆

にかほ市福祉交流センター(スマイル)にて、映画「おだやかな革命」上映とフォーラムを行います。

連携推進協議会 2017 年度総会を行いました。

7月6日(木)9:00より秋田県にかほ市と生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉、グリーンファンド秋田との連携推進協議会 2017 年度総会を、にかほ市役所象潟庁舎会議室にて行いました。はじめに、共同代表の半澤彰浩生活クラブ神奈川専務理事(グリーンファンド秋田代表理事)、須田正彦にかほ市副市長よりご挨拶をいただきました。総会では 2016 年度の活動報告及び決算、第 2 号議案では 2017 年度活動方針と予算を満場



左より生活クラブ埼玉須長常務理事 生活クラブ神奈川椿山政策調整部リーダー(柳下監事代理) にかほ市須田副市長 生活クラブ神奈川半澤専務理事 生活クラブ千葉山本千葉常務理事 生活クラブ東京知野政策調整部政策推進課課長(赤坂幹事代理)

一致で決定しました。今年度は地域間連携の推進を進め、にかほ市における「(仮称)自然エネルギー導入による持続可能な地域づくりに関する条例」の制定を検討します。また、にかほ市における小中学校教育での環境教育プログラムの実施を進めます。

2017 年度の役員は、にかほ市より、須田正彦副市長、佐藤正春総務部長、佐藤均農林水産建設部長、佐藤克之商工観光部長、佐々木俊哉総務部企画課長、生活クラブより、半澤彰浩神奈川専務理事(一般社団法人グリーンファンド秋田代表理事)、赤坂禎博東京常勤理事、須長雅和埼玉常務理事、山本裕一郎千葉常務理事、柳下信宏神奈川常勤理事の方々です。

夢風ブランド開発生産者連絡会 2017 年度総会を行いました。

7月6日(木)13:30より夢風ブランド開発生産者連絡会第4回総会をにかほ市観光拠点センター「にかほっと」多目的室にて行いました。はじめに、生産者連絡会会長の(有)三浦米太郎商店の三浦悦朗代表取締役よりご挨拶をいただきました。三浦会長は「昨年首都圏4単協に夢風ブランド品が供給されており、多くの組合員に届くようになりました。5周年イベントも計画されており、にかほ市やその物産を広くアピールしていきたい。」と述べました。2016年度は夢風ブランド品として「伊藤製麺所のタラーメン醤油味」「日南工業の鱈しょっつる」「佐藤勘六商店のべっぴんさんいちじく」「飛良泉本舗の純米大吟醸夢風」の首都圏での共同購入の取組を進めました。また、首都圏4単協へ生産者に来ていただき交流をはかりました。2017年度はこれまでの夢風ブランド品に加え、三浦米太郎商店の「はたはたおいる漬け」を取り組みます。また、秋にはにかほ市の物産の「5周年記念取組み」やデポーにかほフェアを行います。



三浦悦朗会長と半澤彰浩共同代表

夢風ブランド開發生産者連絡会会員:(有)三浦米太郎商店 三浦悦朗代表取締役、でんべいかれい生産グループ 渡辺郁子代表、伊藤製麺所 伊藤実代表、佐藤勘六商店 佐藤玲代表、(株)飛良泉本舗 齋藤雅人代表取締役、幸月堂菓子舗 齋藤好旦代表、四つ葉ネットワーク 池田強一代表、日南工業(株) 細谷広志代表取締役社長、道の駅象潟ねむの丘 永須康一支配人、芹田自治会 荒川定敏会長、芹田営農組合 遠藤豊組合長、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会 半澤彰浩共同代表、
監査:にかほ市役所総務部企画課 佐々木俊哉課長

グリーンファンド秋田 新任理事紹介

今期就任されたグリーンファンド秋田の理事の方々をご紹介します。



生活クラブ東京 赤坂禎博 常勤理事

今回、理事に就任しました生活クラブ東京の赤坂禎博と申します。新任理事ということになるのか？という…私は、2年ぶりの理事復帰です。しかしこの2年間で、エネルギーを巡る環境は大きく変わりました。私はこの2年間は、生活クラブエナジーの立場でGF秋田とはお付き合いさせて頂いてきました。生活クラブエナジーも立ち上がり、「生活クラブでんき」の共同購入がはじまった訳ですが、解決すべき課題は山のようにあります。一方、にかほの風車は、頑張っていており、地域の皆さんとの連携も着実に進んできています。今やにかほの風車は、事業連携の有り方も含め生活クラブのエネルギー事業のシンボルとなっています。これからも様々な課題に直面すると思いますが、皆さんと力を合わせて取組んでいきたいと思っております。宜しくお願いします。

生活クラブ埼玉 須長雅和 常務理事

2017年度第9期社員総会においてグリーンファンド秋田の理事、ならびに秋田県にかほ市との連携推進協議会の役員に就任いたしました生活クラブ埼玉の須長雅和と申します。昨年度まではリージョナル連帯の自然エネルギー推進プロジェクトのメンバーとして活動に参加しておりましたが、今年度よりにかほ市役所の方をはじめ生産者の方々と直接お会いする機会が増えることになりました。改めてにかほ市と生活クラブの交流を進めることが重要であると感じています。エネルギーを縁とした人・モノ・経済が行き交う産地提携を秋田県にかほ市の人々と深めることが、原発に頼らない持続可能な社会モデルに繋がると考えています。どうぞ宜しくお願い致します。



株式会社市民電力発電 奥原正好 事業開発部PJ担当部長

この度、グリーンファンド秋田の理事に就任いたしました市民風力発電の奥原正好と申します。私は市民風力発電に入る前は電気工事会社の現場の監督をしていました。市民風力発電に入るきっかけとなったのは前職の時に夢風の建設をしたことからです。建設中は生活クラブや市民風力の皆様の風車に対する熱心さに感心させられるばかりでした。建設後も皆様の熱心さは変わらず建設に関わられた事を大変嬉しく思いました。

夢風も5周年を迎えますが、今後も大きな故障もなく回り続けることを願うばかりです。これから、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

にかほ市情報

生活クラブ生協の皆さま、秋田県にかほ市観光課の今野和秋と申します。本市の観光情報を、全6回で紹介する2回目の今回は、本市が誇る夏の味覚「岩牡蠣」についてご紹介します。

本市の岩牡蠣は夏が旬で、その紹介には日本百名山にも選ばれている「鳥海山」との関係なしには語れません。

鳥海山は、標高2236メートルの活火山で、秋田と山形の県境にまたがり、美しい風景と豊富な湧水の恩恵から、地域のシンボリックな存在となっています。

また、H28年9月には、日本海の拡大・形成と、噴火と大規模な山体崩壊を繰り返しながら成長してきた火山が作りだした、固有の景観と地球科学的価値をもつエリア「鳥海山・飛島ジオパーク」として、日本ジオパークに認定され、観光としての見所も数多くあるのですが、今回は岩牡蠣のお話。



鳥海山に降った雨や雪解け水は、長い時間をかけ、豊富なミネラルを蓄えた水となって本市の海底に湧き出し、岩牡蠣の育成に適した環境をもたらしてくれています。

鳥海山の裾野に広がる沿岸部の中でも、本市の岩牡蠣は、塩味が控えめで、鳥海山からの恩恵をその身にたっぷりと宿した濃厚な風味は地元の住民が「他の岩牡蠣では物足りない」と言ってしまうほどです。

ぜひ、本市の夏の味覚の代表格、旬の岩牡蠣と、それを育む鳥海山を堪能しにいらしてください。

生活クラブの情報紙「生活と自治」に生産者が紹介されました。

生活クラブが発行している情報紙「生活と自治」7月号では、「エネルギーを選択できる社会にー生活クラブエナジーの一年」というタイトルで、「生活クラブでんき」の共同購入について取り上げられています。その中で三浦さん、佐藤さん、伊藤さんが並んで移っている写真が「夢風ブランド」を開発した生産者として紹介されました。

電力自由化から1年が過ぎましたが、「顔の見える電気を使う」ことについてもっと組合員にも広く伝えていく必要があります。7月号の生活と自治ではほかの多くのページでも電力の取り組みについて取り上げています。

